

## 珍しい魚？

### ハナオコゼじゃありません カエルアンコウ

2020年8月に、県内の漁業者よりカエルアンコウをいただきました。

底曳網の漁獲物に混ざり、漁獲されたようです。(写真1・2；全長約9cm，7cm)。

前回記載のハナオコゼとよく似ていますが、別の種類です。漁業者によると、夏場によく取れるとのことでしたが、食用ではないため、普段スーパーや市場などで見かけることはありませんでした。この機会に、こちらの魚も紹介いたします。



写真1：カエルアンコウ

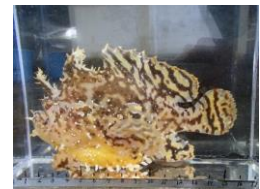


写真2：ハナオコゼ

カエルアンコウ *Antennarius striatus* (Shaw, 1794) は、アンコウ目カエルアンコウ科カエルアンコウ属に属しています<sup>1)</sup>。カエルアンコウと名前が付く魚は、ロケットカエルアンコウ、ボンボリカエルアンコウなど十数種類がありますが、今回の魚は吻上棘先端の皮弁が細長い円筒状で、基部で2~7本に分岐していたため、カエルアンコウと判断しました。

カエルアンコウの分布域は、北海道から九州南岸の日本海，東シナ海沿岸，宮城県～九州南岸の太平洋沿岸，伊豆大島，小笠原諸島，瀬戸内海，喜界島，奄美諸島；済州島，台湾，浙江省～広東省，海南島，南沙群島，インドー西太平洋，ハワイ諸島，ソサエティ諸島，大西洋の沿岸<sup>1)</sup>，水深219m以浅の岩礁周りの礫・砂底または砂泥底に住むとのこと<sup>1)2)</sup>。全長は，12cmほどに成長し<sup>2)</sup>，ハナオコゼ同様に寿命は約1年とされています。

カエルアンコウもハナオコゼと同様に毒はありません。

#### 【参考資料】

- 1) 瀬能宏，2013. カエルアンコウ亜目. 中坊徹次 (編)，日本産魚類検索：第2版，pp. 538, 1883. 東海大学出版会，秦野.
- 2) 藤田・内田 1955. 1988 アンコウ目カエルアンコウ科. 益田一，尼岡邦夫，荒賀忠一，上野輝彌，吉野哲夫 (編)，日本産魚類大図鑑：第2版，pp. 101, 東海大学出版会，東京.

(文責 技師 林和希)